

第24期（2018年4月1日から2019年3月31日まで）

貸借対照表及び個別注記表

株式会社三浦マニファクチャリング

貸借対照表

(2019年3月31日現在)

株式会社三浦マニファクチャリング

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	3,270,687	流動負債	913,853
現金及び預金	1,289,774	買掛金	181,640
売掛金	522,846	未払金	72,688
製品	46,664	未払費用	107,641
仕掛品	194,861	未払法人税等	158,416
原材料及び貯蔵品	379,312	預り金	47,752
前払費用	555	賞与引当金	285,282
短期貸付金	826,023	未払消費税	46,878
未収入金	10,465	設備未払金	13,553
その他	183	固定負債	32,824
固定資産	787,016	役員退職慰労引当金	32,824
有形固定資産	535,121	負債合計	946,678
建物	33,178	(純資産の部)	
機械装置	470,979	株主資本	3,111,025
車両運搬具	6,071	資本金	50,000
工具器具備品	10,759	資本剰余金	580,000
建設仮勘定	14,132	合併損益	580,000
無形固定資産	25,086	利益剰余金	2,481,025
ソフトウェア	24,343	利益準備金	2,766
その他	743	その他利益剰余金	2,478,259
投資その他の資産	226,807	繰越利益剰余金	2,478,259
関係会社株式	500	内当期純利益	271,172
長期前払費用	590		
前払年金費用	136,148		
繰延税金資産	89,335		
その他	234		
資産合計	4,057,703	純資産合計	3,111,025
		負債・純資産合計	4,057,703

有形固定資産の減価償却累計額 1,566,180 千円

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) たな卸資産の評価基準及び評価方法

評価基準は原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)によっております。

製品、半製品、仕掛品	個別法
原材料	総平均法
貯蔵品	最終仕入原価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

①有形固定資産(リース資産は除く)

定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物	3～31年
機械装置	6～12年
工具、器具及び備品	2～15年

②無形固定資産(リース資産は除く)

定額法を採用しております。なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づいております。

(3) 重要な引当金の計上方法

①賞与引当金

従業員の賞与支給に備えるため、当期の負担すべき支給見込額を計上しております。

②役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づき当事業年度末における要支給額を計上しております。

③退職給付引当金(前払年金費用)

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。

数理計算上の差異については、各事業年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(4年)による定額法により按分した額をそれぞれ発生の翌事業年度から費用処理しております。

過去勤務費用については、その発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(10年)による定額法により費用処理しております。

(4) その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

2. 会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に関する注記

当社における有形固定資産（リース資産を除く）の減価償却の方法は、従来、定率法（ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物付属設備を除く）並びに平成28年4月1日以降に取得した建物付属設備及び構築物については、定額法）を採用しておりましたが、当事業年度より定額法に変更しております。

これは、三浦グループがここ数年の間に行ってきたグループ再編や工場集約、設備投資等を契機として検討した結果、今後の長期安定的な事業活動が見込まれることから、定額法が有形固定資産の使用実態をより適切に反映すると判断したものであります。

この変更に伴う損益に与える影響は軽微であります。

3. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 当会計年度末における普通株式の発行済株式の数

期末発行済株式数 1,000 株

(2) 当会計年度末における自己株式の数

該当ありません。

(3) 配当に関する事項

① 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日
2018年 6月28日 定時株主総 会	普通株式	83,300	83,300	2018年 3月31日	2018年 6月30日

② 基準日が当会計年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌会計年度となるもの
2019年6月27日開催予定の定時株主総会の議案として、普通株主の配当に関する事項を次のとおり提案しております。

配当金の総額 135,500 千円

1株当たりの配当額 135,500 円

基準日 2019年3月31日

効力発生日 2019年6月30日

(4) 当会計年度末日における新株予約権に関する事項

該当ありません。